送りがなプリント はってん①（て・たの かたち）

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

小4／うごく ことばの て・た形（4／5）

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

形が かわった ことばの 送りがなの 書き方

れい あめの ひに かさを さして いく。

差 して

れい きのうの しあいで あいてに やぶれた。

敗 れた

考え方

① もとの かたちに もどす

② もとの かたちで 送りがなが はじまる ところを 見つける

③ そこから あとを ぜんぶ ひらがなで 書く

	れい1	れい2
①	さす	やぶれる
↓	↓	↓
②	差**す**	敗**れる**
↓	↓	↓
③	差**して**	敗**れた**

線の ことばの かたちに なるように、かん字の あとに 送りがなを 書こう。

(1) おとうさんは みせで はたらいて いる。

働 ＿＿＿＿

(2) あかちゃんが よなかに ないた。

泣 ＿＿＿＿

(3) としょかんで ほんを かりて きた。

借 ＿＿＿＿

(4) あめの ひが なんにちも つづいた。

続 ＿＿＿＿

(5) つくえに かばんを おいて ある。

置 ＿＿＿＿

(6) おかあさんに でんごんを つたえた。

伝 ＿＿＿＿

(7) しおを すこし くわえて みる。

加 ＿＿＿＿

(8) ひが にわを あかるく てらして いる。

照 ＿＿＿＿

(9) ともだちが たのしく わらって いる。

笑 ＿＿＿＿

(10) かみを はんぶんに おった。

折 ＿＿＿＿

(11) くつの ひもを かたく むすんで いる。

結 ＿＿＿＿

(12) とりが そらを とんだ。

飛 ＿＿＿＿

できたら：こたえを 声に 出して 読み、線の ことばと 同じ 読みに なるか たしかめよう。

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「送りがな」のプリント一覧がひらきます